

受験生応援
BOOK

2025

カンフル

特集

合格体験記

学部学科紹介

京大受験のデータ分析

過去問のすすめ

解き方戦略

過去問のリアル

受験までの流れ

特色特集

入試実況

赤本 vs 青本

受かるジンクス

受験持ち物チェックリスト

保護者向け受験サポートガイド

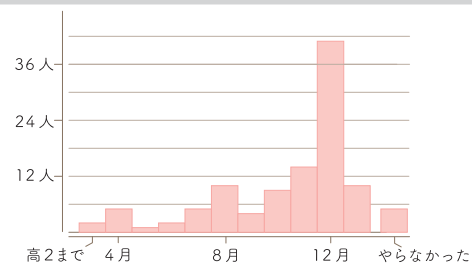
一人暮らしエリア特集

担当者からのメッセージ

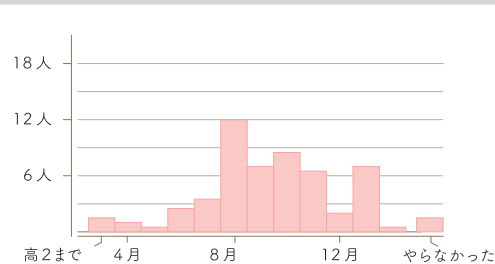
過去問のリアル

大学受験においては、その大学の出題形式に慣れることも合格のために大切な要素の1つとされています。多くの受験生が触れるであろう過去問。ここではその「リアル」を紹介します！

共通テストの過去問を本格的に始めた時期 108回答

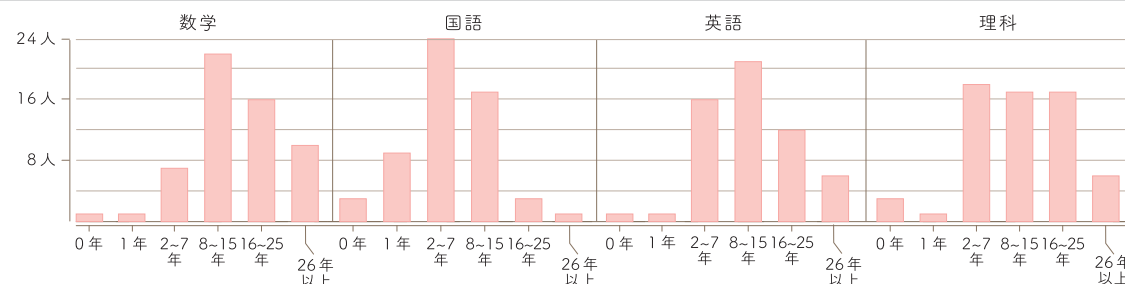


京大の過去問を本格的に始めた時期 108回答



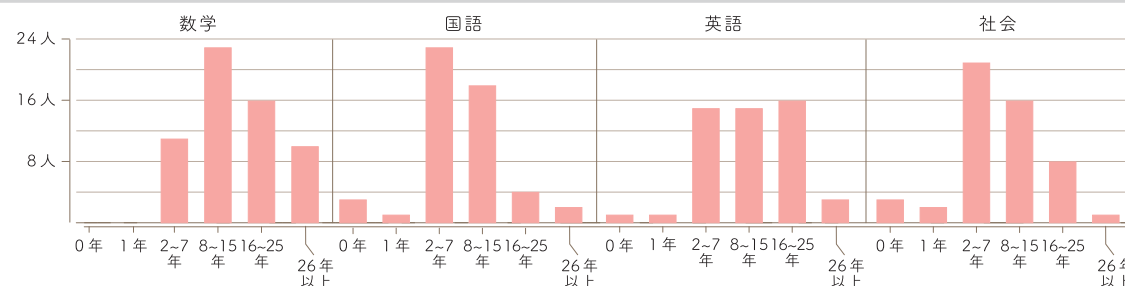
各科目ごとの京大の過去問を解いた年数(理系)

57回答

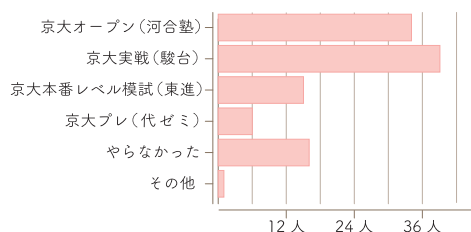


各科目ごとの京大の過去問を解いた年数(文系)

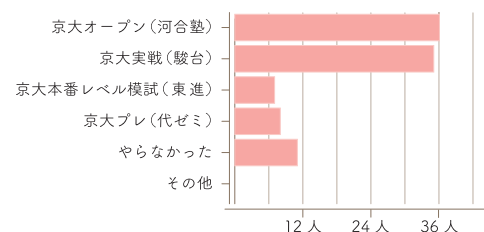
51回答



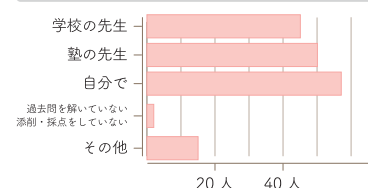
演習で用いた京都大学の冠模試(理系) 111回答



演習で用いた京都大学の冠模試(文系) 97回答



過去問の添削・採点の方法 169回答



演習で用いた他大学の過去問(文系)

東大	早稲田大
一橋大	慶應義塾大
大阪大	同志社大

演習で用いた他大学の過去問(理系)

東大	大阪大
早稲田大	旧東工大
慶應義塾大	その他旧帝大

京都大学
11月祭事務局

京都大学
11月祭事務局

受かるジンクス

大学受験ではメンタル面も合否を分ける重要な要素と言えるでしょう。受験生生活においてルーティンやジンクスがあった人も多かったと思います。そこで、受験期のルーティンやジンクスを京大生に聞いてみました。

- Studyplusをつける。(総合人間(文系)・現役)
- テスト前に聴く曲を決めていた。(経済(文系)・現役)
- 制服のスカートを短く折ってテンションを上げていた。(文・現役)
- 共通テストで答えの見当が全くつかないときには3を選ぶことを決めていた。(法・現役)
- あまり内容がよくわからない文庫本を読み、自習室でかっこつけていた。(法・現役)
- 本番の昼食を決めて、模試でも同じものを食べていた。(工・現役)
- 徳を積む。例えばゴミを拾ったり、後から来る人のためにドアを開けておいたりした。(工・浪人)
- メイクしてから勉強していた。(工・現役)
- 落ちるって言わない。(農・現役)
- 名前を丁寧に書いていた。(農・現役)
- 高2の時に、高校の先生に言われて毎日弁当箱を洗っていた。

受験持ち物チェックリスト

共通テスト編

必須持ち物

- ☐ 共通テスト受験票（印刷したもの）
- ☐ 受験上の注意
- ☐ 学生証
- ☐ 鉛筆（H、F、HB）
- ☐ 鉛筆削り
- ☐ 消しゴム
- ☐ お金
- ☐ ハンカチ
- ☐ ティッシュ
- ☐ 飲み物
- ☐ 昼食

必要に応じて持参する物

- ☐ シャーペン、替え芯
- ☐ 常備薬
- ☐ 軽食
- ☐ カイロ
- ☐ 上着

2次試験編

必須持ち物

- ☐ 京都大学受験票
- ☐ 共通テスト受験票（印刷したもの）
- ☐ 学生証
- ☐ 鉛筆、シャーペン、替え芯
- ☐ 消しゴム
- ☐ お金
- ☐ ハンカチ
- ☐ ティッシュ
- ☐ 飲み物
- ☐ 昼食
- ☐ 携帯電話

必要に応じて持参する物

- ☐ 常備薬
- ☐ 軽食
- ☐ カイロ
- ☐ 上着
- ☐ 座布団（試験中に使用するときは試験官

京都大学
11月祭事務局

京都大学
11月祭事務局

京都大学
11月祭事務局

京都大学
11月祭事務局

京都大学
11月祭事務局



総合人間学部

文系・現役

高知県出身・土佐高校

吹奏楽部（引退時期：高3の4月）

京大模試の成績、共通テストの点数はp.19をご覧ください。

・特色入試の結果

文系総合問題	理系総合問題
73/100	26/100

・出願状況とその可否

国公立推薦入試

京都大学総合人間学部：不合格

国公立前期入試

京都大学総合人間学部(文系)：合格

国公立後期入試

神戸大学国際人間科学部子ども教育学科：不受験

私立入試

同志社大学社会学部教育文化学科(共テ利用)：合格

関西学院大学社会学部(共テ利用)：合格

1 志望理由

私は当初、小学校教員を志していたが、次第に地域に根ざした教育にも関心を持つようになった。子ども食堂や地域の居場所づくりなど、都市融合型の取り組みに携わりたいと考えようになり、そのためには単に教育学にとどまらず、幅広い分野から自由に学べる環境が必要だと感じた。そうした観点から、総合人間学部に関心を持った。

総合人間学部では、自ら方向性を定め、多様な視点から学びを組み立てることができる。入学前は発達心理学に関心を持っていたが、学びを深める中で、政治から子育てにアプローチする視点にも興味を広げることができると感じた。このような自由で多様な学びのスタイルに大きな魅力を感じ、特色入試に挑戦することを決意した。

2 対策

対策としては、特色入試の過去問(2年分)を解き、文系総合問題を時間内に書く練習を繰り返し行い、先生に添削を依頼した。夏休みには文系小論文の講座を受講し、表現力の向上に努めた。9月の運動会では応援団やヤグラ制作に力を注ぎ、10月は「学びの設計書」の作成に多くの時間を割いたため、思うように勉強が進まない時期もあった。

11月には特色・共通テスト・2次試験の勉強を4:3:3の割合で並行して行い、「一般入試の勉強をしたい」と口にするほど、特色対策に集中して取り組んだ。12月14日の特色入試第2次選考(筆記試験)まで、全力を尽くして勉強に励んだ。

3 結果と振り返り

最終的に特色入試の結果は不合格であった。しかし、この挑戦を通じて「自分が大学で何を学びたいのか」について深く考えることができた。小学校教員志望から始まった関心は、子ども食堂や地域の居場所づくりといった分野にまで広がり、進学後の学びの方向性を豊かにしてくれた。

また、特色入試で鍛えられた思考力と文章力は、その後の一般入試に向けた学習にも活かされた。12月中旬からは共通テスト対策に集中し、直前期には主に家で1日15時間ほど学習した。時折学校に行き、友人の姿に刺激を受けたことも励みとなった。結果として、一般入試で合格を勝ち取ることができた。

振り返れば、特色入試は不合格に終わったものの、学びたいことを見つめ直し、努力する姿勢を鍛える貴重な機会となった。挑戦したからこそ今の自分があり、受験して本当によかったと感じている。